

番号	氏名	抱負
211	福西 康修	日本放射線技術学会の学会としてのレベル向上と診療放射線技師の学力および医療技術者としての質の向上、さらには医療技術の発展に、微少たりとも貢献できればと思い立候補いたします。
212	藤井 友広	放射線関係に限らず、医療情報システムが無ければ専門的な業務もできない状況となってきた。したがって、業務を行う上でも重要な部分である。また、近年では画像診断装置の進歩により膨大な画像情報の保存管理が必要となってきた。フィルムレスでの診断環境を維持していくためにも、日々の日常管理が重要となってくる。このような医療情報関係に関して、少しでも寄与できればと考えている。
213	藤井 雅代	
214	藤岡 知加子	近年の技術学会の代議員のメンバーは固定化されておりそろそろ世代交代が必要と考えます。今後の技術学会の運営に少しでも新しい意見が取り入れられるように運営に関わりたいと思います。技術学会が今まで以上に会員に受け入れられさらに会員の役に立つ会になる様にするために立候補致します。
215	藤埜 浩一	最近では、診療放射線技師法施行令の改正案に診療放射線技師業務として核医学診断装置が追加されるなど、我々を取り巻く環境が日々変化しています。我々が国策として求められるチーム医療での高い専門知識や社会への貢献に対して、多様化する現在の技師業務を学術的見地に主眼を置き、活動する本会の役割は大きいと考えます。まだまだ未熟ではありますが、これまでの経験を生かして盛り立てていければと思っています。
216	藤淵 俊王	放射線防護分科会の委員として昨季活動させていただきました。福島第一原発事故以降、放射線被ばくに関する市民の関心はとて高くなっています。放射線防護の点から学会に貢献できるよう立候補いたします。
217	船橋 正夫	
218	船水 憲一	1個人の論文の在り方が、学会そのものの培われた信頼を左右する時代である。投稿数の少なさに目をつぶることなく、学術として認めるもの認められないものの区別をしっかりと行い、権威とプライドが保てる学会を目標としたい。
219	星野 充英	代議員立候補は今回が初めてとなります。技術活動は主に北海道札幌を拠点とした活動となることと思いますが、放射線治療業務を中心とした活動および若手教育に頑張りたいと思います。
220	法橋 一生	医療情報分野は医療の基盤として普及しました。現在は地域へと広がり、これまで行き届かなかった専門領域でより深さを増し、更なる進化が期待されています。本学会の科学的・学術的な視点で、医療情報システムや医療情報そのものを考えることは、これからの医療の発展において重要なことです。また、医療情報分野の学術的な発展は学会の発展にも大きく貢献します。学会を活性化する積極的な活動をしたいと考えています。